



活動レポート No.336

何度でもチャンスのある社会を

今月の提言 わが国が抱える課題の解決に向けて

人口減少にいかに向き合うか

これまで、わが国が抱える課題とその解決について取り上げてきました。今月は私の日々の活動も交えて、より具体的にアプローチしてみましょう。まず、最大の懸案である人口減少問題です。これが、社会の成長を困難にしていることは言うまでもありません。高齢化に伴い、社会保障費の負担がかさみ、効果的な対策がなければ一人当たりの所得は減少し、生活レベルが下がります。

自然増と社会増

人口減少を止めるには、出生数を向上させなければなりません。非婚姻カップルからの出生数が極端に少ないわが国の場合、結婚を促すことこそがその入り口となります。先日、専門家からの婚姻数増加のための提言を、小倉少子化担当大臣に私が提供したのはそのためです。もちろん、非婚姻カップルからの赤ちゃんも歓迎する社会にしなければなりません。同時に、先進国で人口が増加し続けている国では、海外からの移住者が人口増に寄与していることも分かります。そうであれば現存の特定技能制度などを拡充する必要があります。

一人当たりの付加価値生産性の増加が解決策

人口増加が効果を発揮するには長い年月を要します。それまでの期間、人々の

負担をいかに減らすかも考える必要があります。すぐに取り組むべきことは、一人あたりの付加価値生産性を高めること。付加価値生産性は、売上から他社への支払いを引いて計算されます。利益に自社の従業員に支払った人件費を加えた値が付加価値です。この値を増やすには売る数量を増やすか、価格を引き上げるかしかありません。

見落とされていた価値を見出す！

販売数量を増やす一つの方策は海外からの旅行者を増やすことです。来日観光客が1,000万人増えて、一人平均20万円を消費したとすると、人口が100万人増えたのと同じ効果を発揮します。通常国会期間中、コロナで規制のかかっていたクルーズ船が寄港しやすくするようお手伝いをしました。需要の創設と価格の引き上げには、そこにある価値を貨幣化する仕組みも必要でしょう。通常国会では、漁港の6次産業化を支援する法案も成立しましたが、東京から適度な距離にある逗子の小坪漁港などは、良いモデルになるはずです。漁港にもして、漁船だけでなく大型のヨットまで置けるようになれば、新たな需要が創出されます。漁業就労者の付加価値生産性も引き上げられ、収入増にもつながります。小坪漁港を海業振興モデル地区とするお手伝いもその一貫です。身近な問題への提言を通じて、日本の課題解決にも貢献していきたいと考えています。

浅尾 慶一郎



誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
米光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院 (MBA) 修了
玉川大学 講師

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選 (2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選 (2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選 (3期目)
令和4年 参議院議員選挙当選 (3期目)

浅尾慶一郎
事務所

■鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website
asao.net



Facebook
facebook.com/
keiichiroASAO



Twitter
twitter.com/
asao_keiichiro



YouTube
youtube.com/
user/
asaokeiichiro



FSC
www.fsc.org
ミックス
証 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C190963

神奈川県には1村、13町があります。『あさお慶一郎』の活動レポートで、県内の小さな自治体の大きな魅力を紹介するシリーズ7回目は、山と川、そして工業団地が調和する愛川町をご紹介します。町役場で小野澤豊町長にお話を伺いました。

神奈川県中央北部
面積：34.28 km²
人口：39,603人
(令和5年6月1日現在)



あさお：町長が思う愛川町の素晴らしさを教えてください。
小野澤町長：四季折々に町の表情が変化するところでしょうか？山も川もあり農業が盛んですし、工業団地も有しています。また、観光資源も豊かでとてもいいバランスで形成されている、それが愛川町の宝です。愛川町は川なしにはその生々流転を語れないほど、川とのえにしを持っています。水道水

が美味しいのは中津川の恩恵ですね。古くは、農村地域でしたが、1966年以降、県内陸工業団地の完成に伴い経済活動が活発になりました。

あさお：江戸時代から続く「糸のまち」として発展していったのだとか？

小野澤町長：私の子どもの頃は、蚕のために『桑の葉』を採りに行ってきました。『お蚕さん』と呼ぶほど大切に育てていました。中津川の淵に水車を並べて川の流れを動力として糸を紡いでいました。現在は工業団地に多くの企業が参入し経済発展を続けています。新たな大企業の参入も予定されていますのでますますの成長が期待できます。

あさお：町の外国人比率が県内トップと伺っています。

小野澤町長：人口約4万人の中、約3,300人の外国人が暮らしています。さまざまな国の寺院やレストラン、マーケットが存在し町内は国際色豊

かです。当初は南米の人が多かったのですが、今は40数カ国の皆さんが住んでいます。他所からの人を自然と受け入れる、フレンドリーな町民性と言えます。

あさお：愛川町の『元気券』とはどんなものでしょうか？

小野澤町長：『あいかわ元気券』は、町内のお店で買い物ができる1人5千円分の地域振興券です。コロナ禍から数えると5回目の配布を行っています。もちろん外国人の皆さんも利用できますし、いろいろな国のレストランも協力店として加わっています。外国語が表記される『元気券』は、外国人と共存する愛川町ならではのデザインです。

あさお：愛川町を訪れたら「ぜひここは行って欲しい」オススメの場所を教えてください。

小野澤町長：『八菅神社』。こちらは「修験の山」として信仰の聖地です。またなんと言っても『宮ヶ瀬ダム』。毎年10月夜に実施するナイト放流は大人気です。

『蜂の原の夕景』は、広大な農地がオレンジ色に染まります。4年ぶりに工業団地内で開催される『勤労祭野外フェスティバル』(8月20日)には屋上で多国籍料理が楽しめます。各国の大使もいらっしゃる、盛大なお祭りです。

あさお：県内で本格的な他国の料理が楽しめるとは知りませんでした。8月のお祭りは4年ぶりということもあって町民の皆さん楽しみにされているでしょうね。身近な場所で国際交流ができる、工業団地を有し経済発展にもますます期待できる、自然も豊か…バランスの優れた愛川町に注目してまいります。



小野澤町長が選ぶ
愛川町【ベスト3】



卵
輸出もしている高級スーパーにも並ぶ美味しい卵でつくったプリンが絶品。



純米大吟醸「残草蓬萊」
1830年創業の県内でも歴史の長い酒蔵でつくられているフルーティな日本酒。

LUSHの製品
バスフォームやボディクリームが若い世代に好評。愛川町のふるさと納税で上位を占める人気アイテム。

あさお慶一郎をご支援ください

特別賛助会員
募集・
ポスター掲示

「あさお慶一郎君を応援する会」では浅尾慶一郎の政治活動を支援する一助として「特別賛助会員」(5,000円/年)*の募集を行っております。ご入会された方には、鎌倉市在住の女性

アーティストがデザインを手掛けた、今年の干支である卯(うさぎ)の「オリジナルピンバッジ」をお送りさせていただきます。

*後援会組織「あさお会」は無料、年会費はありません。



自民党員になって
総理を選ぼう!

入党資格

1. わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
2. 満18歳以上で日本国籍を有する方
3. 他の政党の党籍を持たない方

*ご入党いただける方は、下記にご記入いただき、浅尾事務所までご連絡願います。「入党申込書」をお送りさせていただきます。

自民党員募集中!!

◎「入党申込書」に氏名、住所、電話番号などを記入し、党費を添えて、最寄りの支部にお持ちください。

◎党費：一般党員 年額4,000円
家族党員 年額2,000円
特別党員 年額20,000円以上

◎お申込みには、紹介党員が必要です。お知り合いに党員がいない場合、浅尾慶一郎事務所にご相談ください。

◎家族党員として入党するには、同一世帯に同一姓の一般党員1名が必要です。

お申込み記入欄

お申込みは FAX. 0467-47-5626 か asao.net のご意見・お問合せフォームへ

お申込みをされる項目に✓をしてください		フリガナ	電話番号
<input type="checkbox"/> 特別賛助会員	お名前	〒	E-mail
<input type="checkbox"/> ポスターの掲示希望 *自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください			
<input type="checkbox"/> 自民党入党希望	ご住所	ー	